6・15参加全自治会の共同主催による

6.15御堂筋大行進の実現を！

6・15首都圏全会共、関西三自治会、御堂筋大行進は、70年安保闘争を準備する二大モ権の奪還闘争である！

6月15日―それは60年安保八周年記念の日であり、同時に70年安保大一波闘争でもある。この日首都においては、不当にも奪われている四全会共モ権の奪還闘争として、関西においては、御堂筋共モ権の奪還闘争として、まわれるようとしている。このように東西相呼応して共モ権の奪還闘争こそは、60年安保以降の共モ権の侵害を現実的にはねかえしてゆくのである。権利の侵害は、侵されに権利を一つ一つ奪い返してゆく闘いの中でこそ反撃できない。民青一統一戦一線一致敵へ民愛同系しは、官憲の共モ弾圧を事実上肯定し共モ権奪還闘争を放棄している。我々は、御堂筋共モ権を共闘闘争と大衆闘争の結合の中で必ず奪還するであろう。

関西三自治会（市大、神大、立命）が6・15自治会共闘集会の責任校（主催代表校）である！

大阪市大自治会は、6・15自治会共闘集会と、先駆的に提起し、準備してきた。わが市大自治会は、6・15集会の責任校として、全関西の学友に責任をもつ覚悟を構えている。市大自治会の先駆的闘いを、更に強めて6・15集会の責任校としての位置を確定しよう！

街頭は人民の広場である。街頭の自由は人民の自由である。個々の政治的課題の達成は、これを獲得するための大衆行動の自由と表裏の関係であり、大衆行動の自由が否定されているところでは政治課題の達成とそ不可能である。

共モは大衆の声である。共モはマスコミにゆがめられてしまった真理真相を叫びつゝ残されたほとんど唯一つの手段である。〈松本健男（会員）〉

統一会議
（主流派）